

学部：ビジネス情報学部

学科：国際ビジネス学科

役職：教授

氏名：矢島 格

Web：<https://sites.google.com/site/yajimaitaru>



### 最終学歴・学位等

慶應義塾大学経済学部卒業

中央大学大学院国際会計研究科修了 国際会計修士 (MBA in International Accounting) 取得

中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程修了 博士 (総合政策) Ph.D. in General Policies 取得

保有資格：証券アナリスト、CFP、FP 技能士1級、宅地建物取引士

### 主な職歴

農林中央金庫勤務を経て現職

一般社団法人関甲新学生野球連盟理事長、公益財団法人全日本大学野球連盟評議員

### 所属学会等

日本金融学会、証券経済学会、生活経済学会、経営哲学学会、日本 FP 学会

### 専門・研究領域

金融システム論、金融機関経営論、個人金融論、コーポレート・ガバナンス論

### 担当授業科目

学 部：ファイナンス入門、証券投資論、FP 概論、パーソナルファイナンス論、  
コーポレート・ファイナンス論、コーポレート・ガバナンス論

大学院：金融システム特論、金融システム演習

### 主な論文・著作

#### ● 博士学位論文

「わが国の銀行業における市場規律と規制規律-望ましいコーポレート・ガバナンスに向けて-」

2010年1月。

#### ● 主要論文

1. 「銀行業における「天下り」現象について - 銀行にとって望ましいコーポレート・ガバナンス構築に向けて -」『中央大学大学院研究年報』第11号 2008年2月, pp101-118。
2. 「日本における預金者規律の有効性について - 92年3月期~08年3月期を対象にした分析 -」『中央大学大学院研究年報』第13号 2010年2月, pp55-72。
3. 「地域銀行における格付付与の状況について - 格付けは、地域銀行にとって市場規律として機能しているか?」『証券経済学会年報』第47号 2012年7月, pp3-17。
4. 「マクロプルーデンス政策主体としての日本銀行のガバナンス問題について」『経営哲学』第10巻1号 2013年3月, pp19-30。
5. 「日本における自己資本比率規制のダブルスタンダードについて - 地方銀行を対象にした分析 -」『上武大学ビジネス情報学部紀要』第13巻 2014年8月, pp1-18。
6. 「金融機関による金融アドバイスの信頼性向上に向けて - パーソナルファイナンス教育の重要性と協会会員が果たす役割 -」『Journal of Financial Planning』2016年7月号, pp64-67。
7. 「労働金庫の全国合併は必要か? - 労働金庫の全国合併構想の再検証 -」『現代経営経済研究』第18号 (第5巻第5号) 2022年3月, pp53-70。
8. 「協同組織金融機関の中央金融機関の組織に関する一考察 - 取引コスト理論による分析 -」『三田商学研究』第66巻第5号 2023年12月, pp293-307。